

第4章 2. 広田遺跡上層人骨個票

高椋浩史

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム
MUSEUM

米元史織

九州大学総合博物館

TAKAMUKU Hirofumi

DOIGAHAMA SITE ANTHROPOLOGICAL

YONEMOTO Shiori

The Kyushu University Museum

本稿は、広田遺跡第1次調査（1957年、昭和32年）から第3次調査（1959年、昭和34年）において出土した人骨について、上層から出土した人骨と、出土情報が不明の人骨について記載した個票である。

出土人骨の番号は、2003年に刊行された『種子島広田遺跡』（広田遺跡学術調査研究会編）に依拠した。なお、九州大学総合研究博物館に保管されている資料との整合性をはかるため、「九大人骨番号」もあわせて記載している。出土人骨の情報は、調査回数順に記載している。個票には、出土人骨の個体数と残存部位の認定、性別判定、年齢推定について表記した。副葬品の出土遺構と数量については『種子島広田遺跡』（広田遺跡学術調査研究会編）に依拠した。

なお、紙幅の都合上、オニシ製貝輪とボウシュボラ製貝輪について、表中では「オニ・ボウ」と一括・省略した。また、副葬品の数量については、発掘調査時の日誌に記された数量と現存する数量が異なるため、『種子島広田遺跡』（広田遺跡学術調査研究会編）の267頁から268頁の一覧表に記された数量を基本的に踏襲し、報告書の本文中の数量と異なる場合は本文中の数量を括弧書きで併記している。

本稿を執筆するにあたり、以下の方々の協力をいただいた。

【九州大学】足達悠紀、内田千種、亀川微香、鈴木沙弥、田中佑希乃、田中利紗、出見優人、唐尚輝、永島さくら、長谷川桃子、諸岡初音、山下理呂

【土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム】弘重久美子

上層人骨個票データは付属 CD に収録している。

個票目次

- 第1次調査
 - 第1人骨群
 - 第2人骨群
 - 第3人骨群
 - 第4人骨群
 - 第5人骨群
 - 第6人骨群
 - 第7人骨群

第 2 次調査

- D 地区15号人骨
- A 地区第 1 集骨

第 3 次調査

- D I 地区第 1 集骨
- D I 地区第 2 集骨
- D I 地区～ A 地区人骨
- D I 地区 E 集骨
- D II 地区第 1 集骨
- D II 地区第 2 集骨
- D III 地区集骨
- D VII 地区第 1 トレンチ南端集骨
- D VIII 地区第 1 集骨

出土情報不明資料

- F 区散乱人骨
- D トレンチ人骨
- 101号人骨
- 102号人骨
- 113号人骨
- 114C あげ人骨
- 114C 人骨
- 101図人骨
- 101,102,103,114C 人骨の集骨
- 118図人骨
- A 区人骨
- A 区114d 人骨
- A 区114b 人骨
- A 区114c 人骨
- A 区 I40/I41人骨
- B トレンチ人骨
- 大森教授送付による骨
- B 地点崖面表採人骨